

平成23年3月18日

北海道開発記者クラブ加入各社
北海道建設記者会加入各社 殿

北海道開発局広報室

電話 709-2311

内線 5227・5228

お 知 ら せ

件 名	平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波の現地調査報告について
-----	--------------------------------

お 知 ら せ 内 容

3月11日に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波について、室蘭開発建設部及び帯広開発建設部管内の港湾・漁港の現地調査を北海道工業大学、室蘭工業大学、独立行政法人土木研究所寒地土木研究所のご指導・ご協力のもと、調査しましたので情報提供致します。

【確認された津波の痕跡】

大津漁港	地盤から 1.5 m程度
十勝港	地盤から 2.3 m程度
苫小牧港（東港）	地盤から 0.5 m程度
浦河港	地盤から 1.0 m程度
様似漁港	地盤から 1.5 m程度
えりも港	地盤から 1.0 m程度

(注) 津波の痕跡高さは港内の施設の有無、地形や場所により大きく違う場合がある。

	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
問い合わせ	北海道開発局 港湾空港部	港湾保安保全	岸 哲也	011-709-2311
	港湾建設課	推進官		(内線5622)
せ先	北海道開発局 農業水産部	水産計画	鈴木 泰弘	011-709-2311
	水産課	専門官		(内線5596)

【参考資料】

1. 調査箇所

(1) 帯広開発建設部管内

- ・調査箇所：十勝港、大津漁港
- ・調査員：北海道工業大学 水野教授
寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム 上席研究員
北海道開発局水産課 水産計画専門官
- ・調査行程：3月13日 15:15 ～ 大津漁港調査
16:50 ～ 十勝港調査

(2) 室蘭開発建設部管内

- ・調査箇所：苫小牧東港、三石漁港、浦河港、様似漁港
えりも港、庶野漁港
- ・調査員：室蘭工業大学 木村教授
寒地土木研究所 水産土木チーム 上席研究員
北海道開発局港湾建設課 港湾保安保全推進官
- ・調査行程：3月13日 13:20 ～ 苫小牧東港 15:08 ～ 三石漁港調査
15:39 ～ 浦河港調査 16:45 ～ 様似漁港調査
17:25 ～ えりも港調査 18:05 ～ 庶野漁港調査

2. 調査概要

<大津漁港>



岸壁背後道路の隣接部分の残雪の津波痕跡（地盤から1.5m程度）

<十 勝 港>



港奥部津波スクリーンの津波痕跡（地盤から 2.3m程度）

<苫小牧港(東港)>



残雪に一定の高さのゴミ付着の津波痕跡（地盤から 0.5m程度）

<浦河港>



船舶給電施設の壁にゴミ付着の津波痕跡（地盤から 1.0m程度）

< 様似漁港 >



屋根付き岸壁の高さの約半分まで浸水（地盤から 1.5m 程度）
砂の付着の津波痕跡

<えりも港>



津波スクリーンの下端横ワイヤーに海藻付着（地盤から 1.0m程度）



津波スクリーンが、漁船の流出を防いだ形跡